

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公表番号】特表2011-526942(P2011-526942A)

【公表日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2011-516305(P2011-516305)

【国際特許分類】

C 08 L 69/00 (2006.01)

C 08 K 5/42 (2006.01)

C 08 K 5/521 (2006.01)

【F I】

C 08 L 69/00

C 08 K 5/42

C 08 K 5/521

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月18日(2012.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) 芳香族ポリカーボネートを70 ~ 90重量%、

B) 臭素置換オリゴカーボネートを1 ~ 20重量%、

C) リン含有化合物を1 ~ 20重量%、および

D) ベルフルオロアルカンスルホン酸のアルカリまたはアルカリ土類塩の少なくとも1種を0.01 ~ 1重量%、

含み、そしてフッ素化ポリオレフィンを含まない、透明な熱可塑性成形組成物。

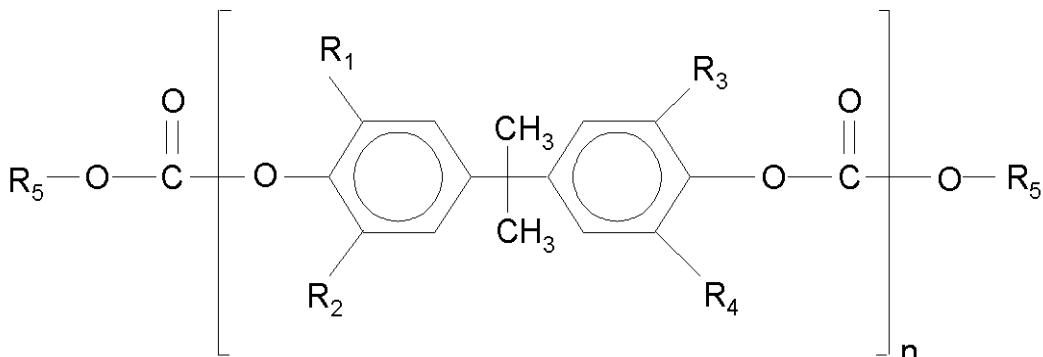
【請求項2】

前記臭素置換オリゴカーボネートの含量が5 ~ 15重量%であり、前記リン含有化合物の含量が2 ~ 10重量%であり、および前記塩の含量が0.02 ~ 0.5重量%である、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

前記臭素置換オリゴカーボネートが、下記構造

【化1】



[式中、 $\text{R}_1$ 、 $\text{R}_2$ 、 $\text{R}_3$  および  $\text{R}_4$  は、それぞれ独立して、H、Br または  $\text{CH}_3$  を示す。]

し、但し  $R_1$ 、 $R_2$ 、 $R_3$ 、 $R_4$  のうち少なくとも 1 種は Br を示すことを条件とし、および、

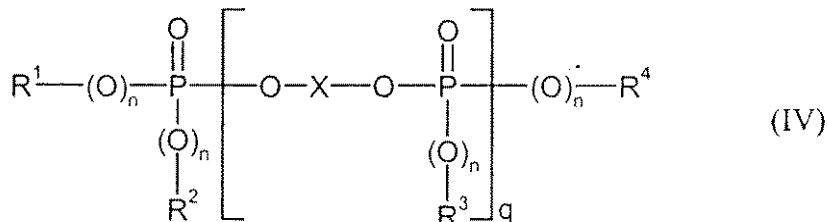
$R_5$  は、アリール、アルキルアリールまたはアルキル基を示し、および、  
 $n$  は 1 ~ 100 である。】

を有する、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

前記リン含有化合物が、下記構造

【化 2】



[式中、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$  および  $R^4$  は、それぞれ独立して、C<sub>1</sub> - ~ C<sub>8</sub> - アルキル、または C<sub>5</sub> ~ C<sub>6</sub> - シクロアルキル、C<sub>6</sub> ~ C<sub>20</sub> - アリールまたは C<sub>7</sub> ~ C<sub>12</sub> - アラルキルを示し、

$n$  はそれぞれ独立して 0 または 1 を示し、 $q$  は 0 ~ 30 を示し、および X は、炭素数 6 ~ 30 の単核または複数核芳香族基、または炭素数 2 ~ 30 の脂肪族基である。】

を有する、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

前記ペルフルオロアルカンスルホン酸の塩が、アルカリ金属、アルカリ土類金属、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub> - アルキルアンモニウムおよびアンモニウムからなる群から選択される、少なくとも 1 種のペルフルオロアルカンスルホン酸塩である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】

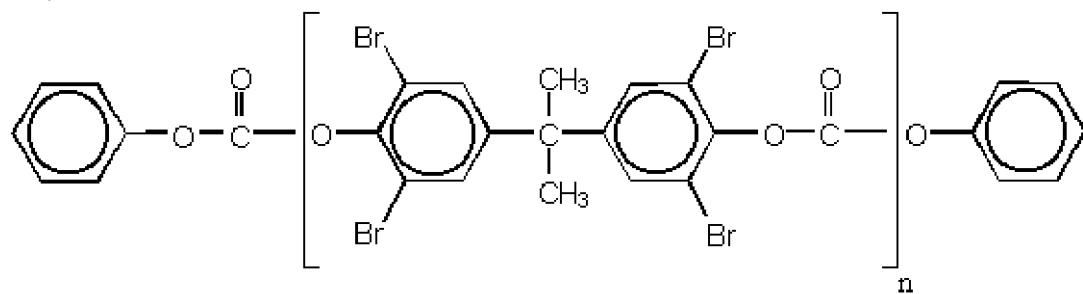
前記塩が、ペルフルオロメチルブタンスルホン酸ナトリウム、ペルフルオロメチルブタンスルホン酸カリウム、テトラエチルアンモニウムペルフルオロメチルブタンスルホン酸アニオン、ペルフルオロメタンスルホン酸ナトリウム、ペルフルオロメタンスルホン酸カリウム、テトラエチルアンモニウムペルフルオロメタンスルホン酸アニオン、ペルフルオロエタンスルホン酸ナトリウム、ペルフルオロエタンスルホン酸カリウム、テトラエチルアンモニウムペルフルオロエタンスルホン酸アニオン、ペルフルオロプロパンスルホン酸ナトリウム、ペルフルオロプロパンスルホン酸カリウム、テトラエチルアンモニウムペルフルオロプロパンスルホン酸アニオン、ペルフルオロヘキサンスルホン酸ナトリウム、ペルフルオロヘキサンスルホン酸カリウム、テトラエチルアンモニウムペルフルオロヘキサンスルホン酸アニオン、ペルフルオロヘプタンスルホン酸ナトリウム、ペルフルオロヘプタンスルホン酸カリウム、テトラエチルアンモニウムペルフルオロヘプタンスルホン酸アニオン、ペルフルオロオクタンスルホン酸ナトリウム、ペルフルオロオクタンスルホン酸カリウム、テトラエチルアンモニウムペルフルオロオクタンスルホン酸アニオン、ペルフルオロブタンスルホン酸ナトリウム、ペルフルオロブタンスルホン酸カリウム、テトラエチルアンモニウムペルフルオロブタンスルホン酸アニオン、ジフェニルスルホンスルホン酸ナトリウム、ジフェニルスルホンスルホン酸カリウム、およびテトラエチルアンモニウムジフェニルスルホンスルホン酸アニオンからなる群から選択される少なくとも 1 種である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】

A) 芳香族ポリカーボネートを 70 ~ 90 重量 %、

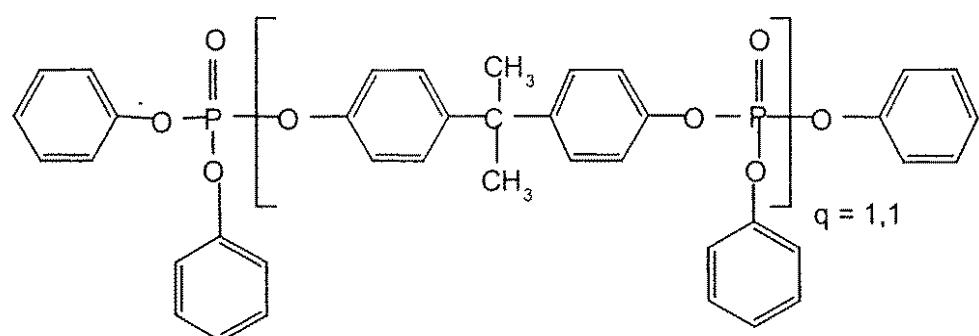
B) 下記構造を有し、臭素含有量が 40 重量 % を超える、臭素置換オリゴカーボネートを 1 ~ 20 重量 %、

【化3】



C) 下記構造式を有するリン含有化合物を 1 ~ 20 重量 %、

【化4】



および、

D) ペルフルオロブタンスルホン酸カリウムを 0.01 ~ 1 重量 %、

含み、そしてフッ素化ポリオレフィンを含まない、透明な熱可塑性成形組成物。